



書くのが楽しみになる! 『アカデミック・ライティング』が新入生の学びを変える

平成29年度の大坂大学賞（教育貢献部門）を受賞した、堀一成准教授と坂尻彰宏准教授による「アカデミック・ライティング」。これは8年前の堀先生の講習会から始まったもので、現在では基礎セミナー「アカデミック・ライティング入門」のほか、各学部の「情報活用基礎」でも、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』（お二人が作成した初学者向けの小冊子）が活用されています。

数理科学と自然言語処理を専門とする堀先生と歴史学を専門とする坂尻先生、ご専門の分野は全く異なるものの、「研究内容を検証可能な形で記述することが基本であることに変わりはない」とのこと。「アカデミック・ライティング」の講義目的は、その学問としての基本的な作法を知ってもらうこと。新入生のなかには過去にライティングの指導を受けた経験がない学生も多く、ときには漠然とした苦手意識を抱いている学生も。早い段階で基本を学び、課題を順次クリアしていくことで、こうした苦手意識も払しょくすることができる



といいます。

前述の『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』は、阪大内だけの利用にとどまらず、OUKA（大阪大学リポジトリ）を通じて広く一般に公開されています。そのダウンロード件数は常にトップクラスで、時には一ヶ月あたり1,000件を超えることも。再配布も自由なため、これをベースに独自の資料を作っている大学も複数あります。堀先生いわく、このダウンロード件数が「心の支え」とのこと。

大阪大学でのライティング教育について、お二人が考える今後の課題は二つ。一つは理系のレポート・ライティングについて、フォローを一層充実させること。もう一つは、将来予想される新入生の変化に対応することです。近年は初等中等教育においても「言語活動の充実」が重視されており、それに応じて大学入試のあり方も変化すると予想されています。今後、それぞれの高校において、異なる指導方法でライティングを学んだ学生を受け入れるようになった時、大学のライティング教育はどうあるべきか。新入生の調査を通じて継続的に現状を把握しつつ、より本質を突いた教育内容を検討していく必要があるとのことでした。



Contents▶▶▶▶

- P1 · 書くのが楽しみになる! 「アカデミック・ライティング」が新入生の学びを変える
 - 「心と体のセルフ・メンテナンスのためのエクササイズ」に潜入!
- P2 · 「突撃!! となりの教室」のその後
 - Pickup! 教えて先生!
- P3 · イベント報告
 - 授業に役立つツール
- P4 · 全学教育推進機構「履修支援サイト」をご活用ください!
 - CELAS NEWS

阪大生のための
アカデミックライティング入門&指導マニュアル
ダウンロードはこちらから↓↓↓

<http://osku.jp/g0109>



突撃!! となりの教室

心と体のセルフ・メンテナンス のためのエクササイズに

潜

入



今回潜入した教室は、スポーツ・健康教育部門の藤田和樹准教授による「心と体のセルフ・メンテナンスのためのエクササイズ」。この講座は、3月7日に教育学習支援部主催の「トランスファラブル・スキルズ・ワークショップ」のプログラムの一つとして開催されました。

研究活動を続ける上で健康を自己管理することはとても大切なことです。この講座では、心身の健康維持のための運動として「ラヴァボール」を用いたストレッチが紹介されました。「ラヴァボール」はグレープフルーツほどの大きさの特殊なゲルが入ったボールです。これを首の付け根や肩甲骨の内側、骨盤や

膝の下において2～3分寝るだけで筋肉がほどよくストレッチされます。運動後は首、肩、腰がすっきりするだけでなく、継続することにより不眠症やストレス緩和などの効果が期待できます。藤田先生によれば、東日本大震災時にはラヴァボールは避難所の生活必需品だったそうです。運動する場所や時間のない人（＝研究者）にはとてもおすすめのラヴァボール。あなたも試してみては？



「突撃 !! となりの教室」の

その後
…



*前号登場した小島理永講師の授業
のその後の様子を少しだけ紹介！

前回取材した基礎セミナー「コンテンポラリーダンス入門」（春夏学期）では、ドイツとの遠隔授業による創作活動が行われました。その後もプロジェクトとして継続され、2月18日（日）大阪大学会館アセンブリー・ホールにて成果発表会を開催。当日は、カルガリー大学在学中の小松有凜さんもビデオ中継で参加し、ドイツ人ダンス指導者2名、阪大の学部学生、インターナショナルカレッジ生、教職員、総勢17名によるダンスとICTの共創が披露されました。



Pickup!

教えて先生！

Q

サクラと並んで有名な春の花、タンポポ。キク科タンポポ属の総称で、日本在来のカンサイタンポポやシロバナタンポポ、ヨーロッパからやってきたセイヨウタンポポなど、様々な種類があります。大阪大学でも、春になると黄色いタンポポの花をあちこちで見ることができます。さて、タンポポについて、次のうち正しいのはどれ？

1. 豊中キャンパスにおいて、日本在来のタンポポは2017年時点で既に外来種により駆逐されており、見ることはできない
2. 在来種であるカントウタンポポとカンサイタンポポは、見た目では区別がつかない
3. タンポポの一つの花の花びらの数は10枚以下である
4. 若葉は可食で、春の七草の「仏の座」とはタンポポのことである

（全学共通教育部門 北沢美帆 助教）

答え・詳しい解説は
こちらから→→→

<http://osku.jp/p0948>



イベント報告

■ 豊中地区研究交流会

1月10日「第2回大阪大学豊中地区研究交流会」が開催されました。本研究交流会は、文系・理系を問わず、豊中キャンパスの研究者が一堂に会し、互いの研究について発表や議論を行うことで交流を深めることを目的に平成28年度から始まりました。

全学教育推進機構からは、第1部ポスターセッション「大阪大学豊中地区の研究者による研究紹介」にて、3件の研究成果報告が行われました。報告タイトルおよび発表者は次の通りです。

「LMSを活用したブレンド型学習環境の構築」(権藤千恵特任研究員)

「大阪大学における授業コンサルティングサービスの方法とその効果—学期中間期の学生のフィードバックによる授業改善支援—」(根岸千悠特任助教・佐藤浩章准教授)

「大阪大学2016年度学部新入生アカデミック・スキル調査」(坂尻彰宏准教授・堀一成准教授)



■ 日本刀鑑賞講座

11月6日および2月9日、ステューデント・コモンズ2階セミナー室Aにて、当機構の坂東隆男教授(健康・スポーツ教育科目「武道」担当、日本武道学会理事、全日本剣道連盟剣道教士七段)のもと「日本刀鑑賞講座」が開催されました。両日とも同内容で実施され、日本刀の種類など日本刀の概要を学んだ後に、鑑賞の手順および鑑賞時の注意点が解説されました。会場には原料となる玉鋼^{たまはがね}と三口の刀劍^{三口の刀剣}が展示され、講座の後半には手に取って鑑賞する時間も設けられました。

本やインターネットでは知ることのできない、鑑賞の作法を実際に体験できる貴重な機会だったと好評でした。実際に日本刀を手に取った参加者からは、重さを実感できた点が良かった、今後の美術鑑賞にも役立てたい、拵えの細工についてもよく見てみたい等の声が寄せられました。



左：まず一礼し、手に取って全容を眺める
右：袴紗を当てて刃紋など細部を眺める

■ 高度教養教育セミナー

10月8日サイエンス・コモンズScience Studio Aにおいて、全学教育推進機構横断型教育部門主催(COデザインセンター共催)「高度教養教育の最前線」セミナーを開催し、学内外の大学関係者を中心に36名の参加がありました。

セミナーは佐藤宏介全学教育推進機構長からの開会挨拶から始まり、松繁寿和横断教育部門長より、大阪大学の横断型教育の概要や現在検討されている新たな高度教養教育のあり方等、問題提起が行われました。

続いて、高等教育入試研究開発センター特任教授(米国カレッジ・大学協会元副理事)のSusan Albertine先生による基調講演、大学院高度副プログラムを受講した経験を持つ2名の学生による体験報告を行いました。後半のディスカッションでは、基調講演者および報告者とフロアを交え、白熱した議論が繰り広げられました。



授業に役立つツール

教育学習支援部 大山 牧子 助教

授業をもっとインタラクティブに！

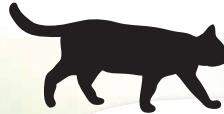
クリッカーの活用



クリッカーとは、授業中の受講生の回答をリアルタイムに集めて共有するシステムです。受講生に挙手を求めて「シーン…」となってしまうことはありませんか？学生は（間違ったら恥ずかしい、当たらぬ時はどうしよう…）、と思って躊躇しているかもしれません。そんな時にクリッカーを用いて、いくつかの選択肢を示した上で質問すれば、教室全体の理解度を確認することができます。

最近では無料のサービスもあり、アプリやブラウザ上で手軽に使うこともできます。また、ネットワーク環境がない場合は、色の違う付箋紙を重ね合わせて配布し、2択の問題をアナログで作成することもできます。クリッカーを用いて問題を解いた後、なぜその回答を導いたのか根拠を考えて受講生どうして話すように求めることで、より深い学びにつなげていくことができます。

お問い合わせは 教育学習支援部
(office@tlsc.osaka-u.ac.jp) まで



大学から沢山資料をもらったけど結局何から始めればいいの？
大学の時間割って複雑すぎる！どっかにまとまった情報ないかな？



全学教育推進機構

:::::「履修支援サイト」ご活用ください！:::::

全学教育推進機構では、約3,500名の新入生の学習のスタートである履修登録に必要な情報をまとめた「履修支援サイト」の情報を更新しました。「履修登録予備知識」「授業・時間割と年間予定」「成績評価」等の情報に加え、平成30年度からは各学部別に情報をまとめたページも新たに公開。学部別の「履修の手引」や「授業時間表」もホームページから簡単に閲覧できるようになりました。学生さんだけでなく、教職員の皆さんも履修支援の際に是非活用してください！



「履修支援サイト」 <http://www.celas.osaka-u.ac.jp/fresher/>

CELAS NEWS

平成29年度大阪大学全学教育優秀賞 表彰式を開催



12月22日にサイエンス・コモンズScience Studio A（豊中キャンパス）にて大阪大学全学教育優秀賞表彰式を開催しました。大阪大学全学教育優秀賞は、大阪大学の教育目標の一つである「教養」に焦点をあて、全学教育推進機構での学士課程における教養（共通）教育において優秀な学業成績をあげた学生を表彰する制度として、平成28年度から新たに創設された賞となります。今回は51名の方が受賞されることになり、式では、佐藤機構長から受賞者に対し、表彰状が授与されました。

全学教育推進機構 教員3名が 平成29年度大阪大学賞を受賞しました



受賞者および受賞内容は以下のとおりです。

<大学運営部門>

杉山清寛「世界適塾の教育研究力を生かしたSEEDS
プログラム」

<教育貢献部門>

坂尻彰宏「学部新入生向けライティング指導教材の作成と入学時能力実態調査における貢献」

堀一成「学部新入生向けライティング指導教材の作成と入学時能力実態調査における貢献」

編集後記

ラヴァーボールの講習を行った日の晩、ビールジョッキを持つ手に力が入らなかった。(ボールマニア)

堀先生、坂尻先生には記事に盛り込めなかったお話をたくさん伺いました。個人的収穫。(K)

ニュースレターへのご意見・ご感想・ご要望はこちらまで
✉ public-relations@celas.osaka-u.ac.jp

